

## 昨年度の市町村への指導事項対応状況（胃がん）

指導事項	「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に定められた対象年齢「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に定められた対象年齢外（40歳未満）の者にはがん検診を実施することは、不利益が利益を上回ることを認識し、検診対象者の見直しを検討すること。なお、対象年齢外の者に対して検査を実施する場合は、利益・不利益の説明を確実にを行い、受診者の了承を得て行うこと。		
	指導対象	対応状況	内 容
仙台市	○	対応あり	X線検査において、対象外の年齢の方については利益・不利益があることを受診券と同封のリーフレットに記載し周知している。 対象外年齢（35～39歳）については、若い世代のがんの早期発見と早期治療につなぐために実施している。
石巻市	○	対応あり	利益・不利益に関する説明を周知し、希望者に対し検診を実施した。 【検査実施理由】 平成17年4月1市6町の合併に伴い、対象年齢の下限を構成市町の最年少に統一し、30歳以上としている。
塩竈市	○	対応あり	対象年齢外の者に対しての検査について、説明を十分にを行い、受診者の了承を得ている。なお、対象外年齢とは30歳以上で、受診機会の拡充のためにやっている。
多賀城市	○	対応あり	定められた対象年齢の方に実施することを検討中。
富谷市	○	対応あり	受診機会確保のため、30歳以上の者に実施。 利益・不利益の説明を確実にを行い、受診者の了承を得て実施するように努めた。
登米市	○	対応あり	病気等の早期発見・早期治療を図るため。
栗原市	○	対応なし	今後、チラシを・受診票などに対象外の方への検診であることを盛り込むよう検討する。 なお、検診範囲を指針に併せて実施することは既存の検診対象者の縮小となることから、困難が予想される。
蔵王町	○	対応あり	次年度以降は対象年齢の見直しについて検討中。
七ヶ宿町	○	対応なし	これまで、長年に渡り対象外の方へ実施していた経緯から、対象者の見直しを行うことは難しい。令和8年より対象外の者に対しての利益・不利益の説明をどのように行うか検討していきたい。
亘理町	○	対応あり	今年度から検診対象者の年齢を40歳以上に引き上げた。40～49歳については前年度未受診者のみを対象とした。
山元町	○	対応あり	受診者へは、利益・不利益の説明を行い、受診者が了承したうえで検査を実施している。
松島町	○	対応なし	対応には至っていないが、来年度に胃がん検診胃内視鏡検査を新規で導入するにあたり、胃がん検診の対象年齢を国の指針に基づき見直すことを検討している。
七ヶ浜町	○	対応あり	検診時に利益・不利益の説明を行い、受診者の了承を得ている。 当町の胃がん罹患率が高いため、早期発見を促すことを目的として実施しているが、今後見直しも検討する。
利府町	○	対応なし	検診対象者の見直しについては町民要望で実施してきた経緯があるため変更は難しい。次年度は、検診票に「利益・不利益」に関する説明文を記載する方向で検討していきたい。
大和町	○	対応なし	今後、検診団体と検討していく。
大郷町	○	対応あり	令和7年度においては、検診対象者を35歳以上としているが、対象年齢外（40歳未満）の受診者に対しても、利益・不利益の説明を確実にを行い、受診希望者の了承を得た上で検診を実施した。 現在、検診対象年齢の見直しについて検討中であり、住民サービスの低下や混乱を避けるため、段階的な移行を予定している。具体的には、令和8年度は38歳以上、令和9年度は39歳以上を対象とし、令和10年度から国の指針に合わせる方針である。
大衡村	○	対応あり	希望者へ委託機関より事前の説明があり、了承を得てから受診している。
色麻町	○	対応あり	対象年齢外の者に対して、検診実施の際に利益・不利益の説明を行い、同意を得たうえで受診をするようにしている。
加美町	○	対応あり	令和7年度は対応が間に合わず40歳未満を対象とし、受診者に了解を得て実施したが、令和8年度に向けて対象者の見直しを図るよう検討している。
美里町	○	対応あり	次年度以降の対象年齢見直しについて検討する。
南三陸町	○	対応あり	これまでは30代に対しても、検診啓発や早期発見の目的で検診を実施していたが、対象者に対する受診率が低いこと、精密検査該当者がいない年もあること、不利益が上回ることを鑑み、来年度は40歳以上への引き上げを検討する予定。住民への周知の仕方についても理解を得られるよう検討する。